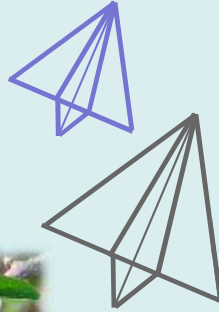


私たちが住む 長野市の未来を考えよう！



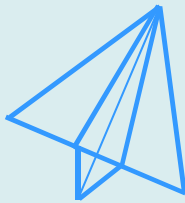
長野市消防局 中央消防署



レッサーパンダ（茶臼山動物園）



市の花 リンゴの花



第五次長野市総合計画〈生徒版〉

生徒版を使用される方へのお願い

- 原則として、スライドをそのまま使用してください。
- 図表の拡大、縮小をしていただいても構いません。
- スライドを追加する場合は、資料の出典や根拠を明記し、自己の責任において使用してください。
- 数値等は、年 1 回（毎年 9 月頃）更新の予定です。


このほかにご不明な点がございましたら、最終ページの問い合わせ先まで




目 次

内 容	ページ番号
長野市のあゆみ	1 ~ 2
人口の推移	3 ~ 16
長野市の面積	17 ~ 19
長野市の財政	20 ~ 21
人口減少、少子・高齢化とまちの将来像	22 ~ 23
第五次長野市総合計画について	24 ~ 26
長野市の予算	27 ~ 32
分野別資料	33 ~ 61

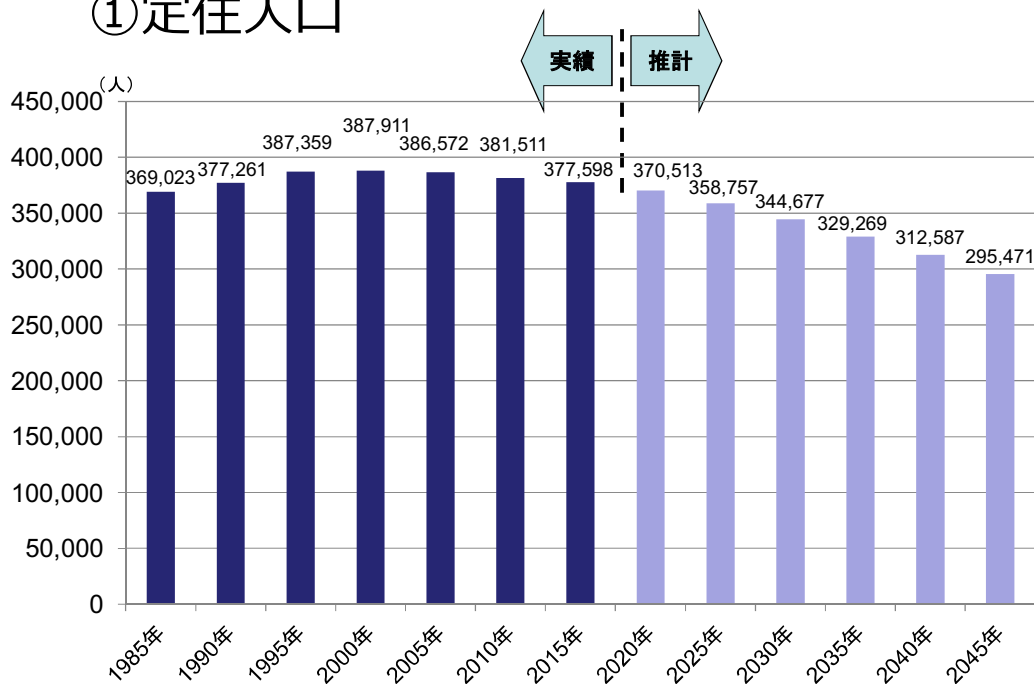
長野市のあゆみ

平成9 (1997)年～	<ul style="list-style-type: none">・平成9 (1997) 年 北陸新幹線(高崎・長野間) 開業 市制施行100周年・平成10 (1998) 年 第18回冬季オリンピック 開催 第7回冬季パラリンピック 開催・平成11 (1999) 年 長野市が中核市※に移行 <small>※人口20万人以上の都市を対象として、政令指定都市に準じた事務権限を都道府県から譲られた市のこと。</small> 上信越自動車道 全線開通・平成12 (2000) 年 循環バス「ぐるりん号」運行開始・平成13 (2001) 年 おでかけバスポート事業 開始・平成14 (2002) 年 「ながの花フェスタ2002」開催 (「善光寺花回廊」の始まり)・平成15 (2003) 年 「もんぜんぶら座」開設・平成17 (2005) 年 豊野町・戸隠村・鬼無里村・大岡村と合併 (人口383,763人)・平成20 (2008) 年 市立長野高等学校 開校・平成21 (2009) 年 家庭ごみ処理手数料有料化・平成22 (2010) 年 信州新町・中条村と合併 (人口389,337人)	 <p>北陸新幹線E2系 ※現在は営業運転を終了しています。</p>
-------------------------	--	---

<p>平成24 (2012)年～</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平成23 (2011) 年 3月11日 東日本大震災発生 長野市民会館 閉館 ・平成24 (2012) 年 長野電鉄屋代線 廃線 バス共通 I Cカード「KURURU」、「おでかけパスポート」運用開始 ・平成25 (2013) 年 茶臼山動物園のモノレール 開通 ・平成26 (2014) 年 4月 地域おこし協力隊員を配置 ・平成27 (2015) 年 2月 南長野運動公園総合球技場 (愛称: 長野Uスタジアム) 完成 ・平成27 (2015) 年 3月 北陸新幹線 (長野・金沢間) 開業 しなの鉄道北しなの線 開業 ・平成27 (2015) 年 4月 水道事業給水開始から100周年 ・平成28 (2016) 年 1月 長野市役所新第一庁舎 開庁 ・平成28 (2016) 年 5月 長野市芸術館 開館 ・平成29年 (2017) 4月 長野市制120周年 市立長野中学校 開校 	 <p>長野市芸術館 メインホール</p>
--------------------------	---	---

人口の推移

①定住人口

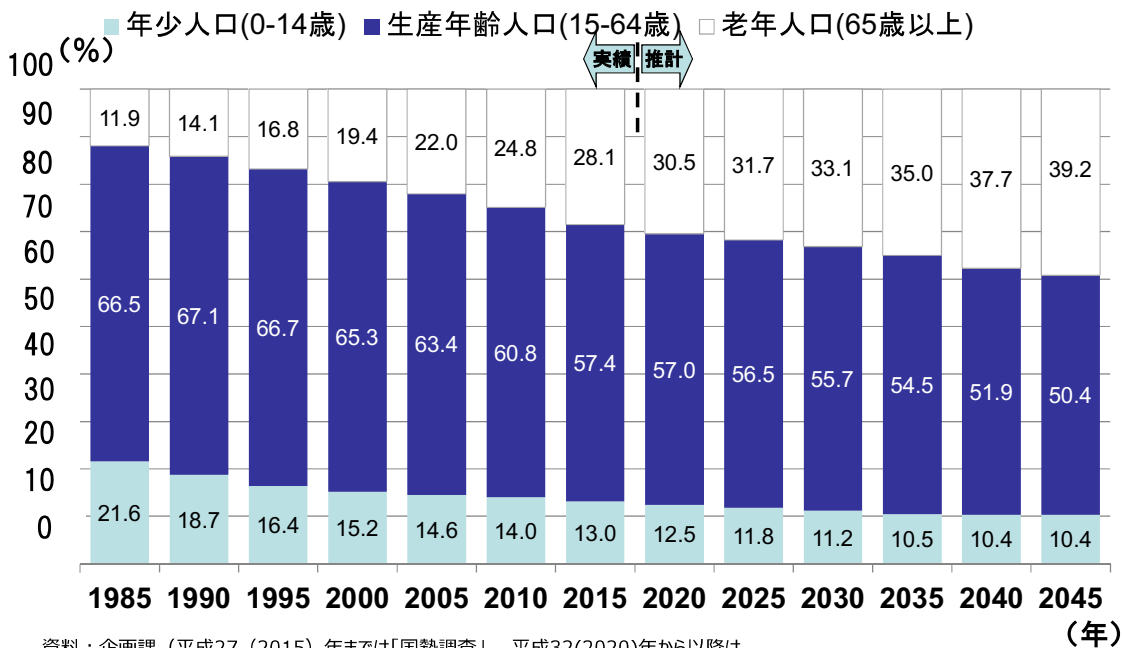


※現在の市域で集計

資料: 企画課

(平成27 (2015) 年までは「国勢調査」、平成32 (2020) 年から以降は
国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」に準拠した推計)

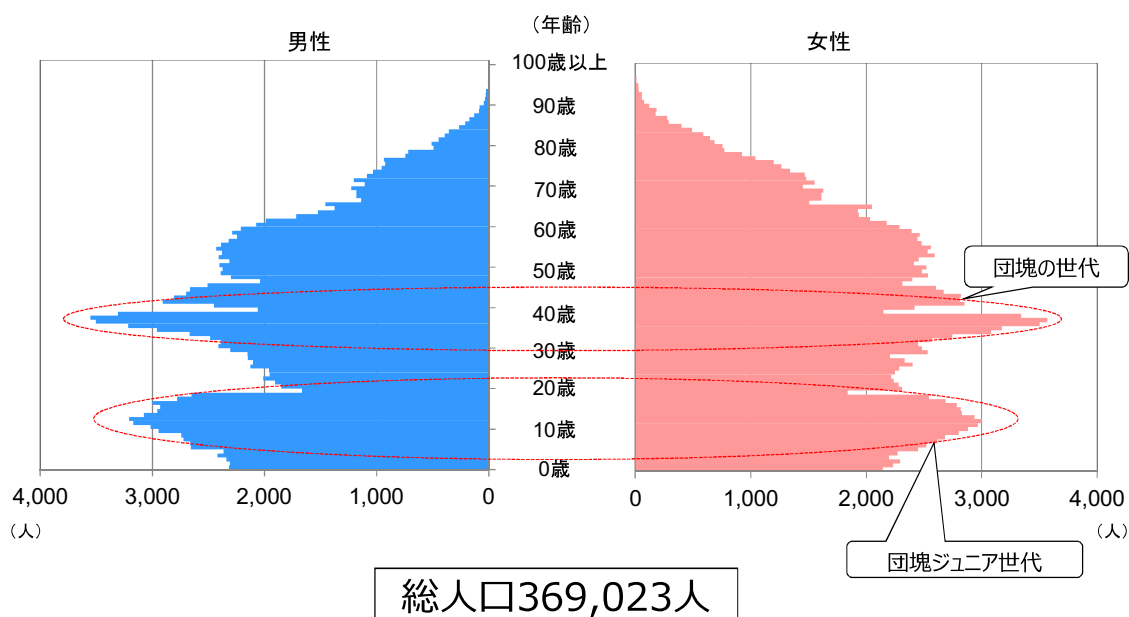
②年齢3区分別人口割合



資料：企画課（平成27（2015）年までは「国勢調査」、平成32(2020)年から以降は
 国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」に準拠した推計）

※実績には、年齢不詳が含まれていないため、3区分の合計が必ずしも100%になりません。

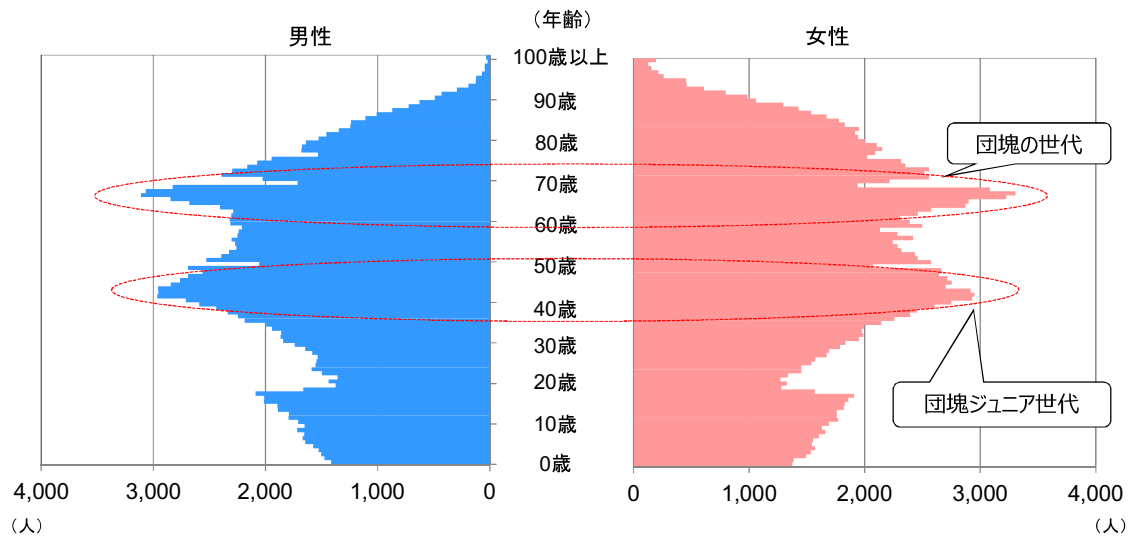
1985年 人口ピラミッド



資料：企画課

人口の推移

2015年 人口ピラミッド



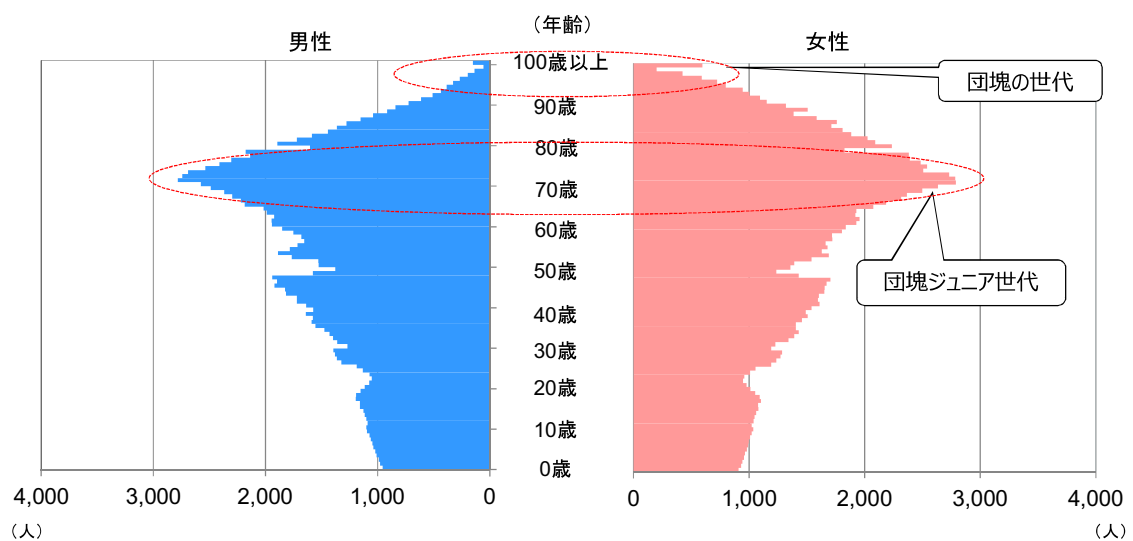
総人口377,598人

資料：企画課

6

人口の推移

2045年 人口ピラミッド

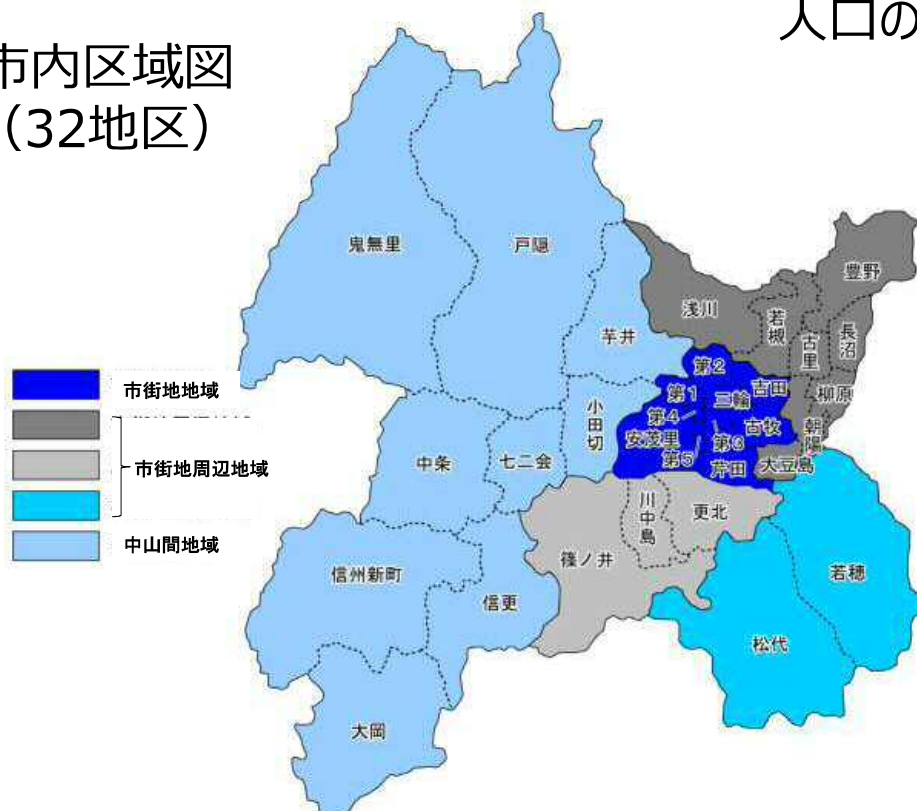


総人口295,471人

資料：企画課

7

市内区域図
(32地区)



8

地区別人口 (32地区) ①

地区名	人口	
	1985年10月1日	2015年10月1日
長野市総計	369,023	377,598
第1地区	9,085	5,963
第2地区	13,926	11,774
第3地区	9,143	6,364
第4地区	4,055	2,803
第5地区	6,084	4,820
芹田	27,152	28,896
古牧	20,143	26,265
三輪	18,447	16,750
吉田	15,001	16,762
古里	12,356	13,543
柳原	6,658	6,872

資料：昭和60（1985）年、平成27（2015）年「国勢調査」

9

地区別人口（32地区）②

地区名	人口	
	1985年10月1日	2015年10月1日
浅川	8,363	6,525
大豆島	8,105	12,023
朝陽	12,724	14,828
若槻	15,789	20,194
長沼	2,983	2,303
安茂里	21,628	21,503
小田切	1,835	902
芋井	2,829	2,314
篠ノ井	37,516	41,340
松代	21,224	17,100
若穂	12,934	12,201

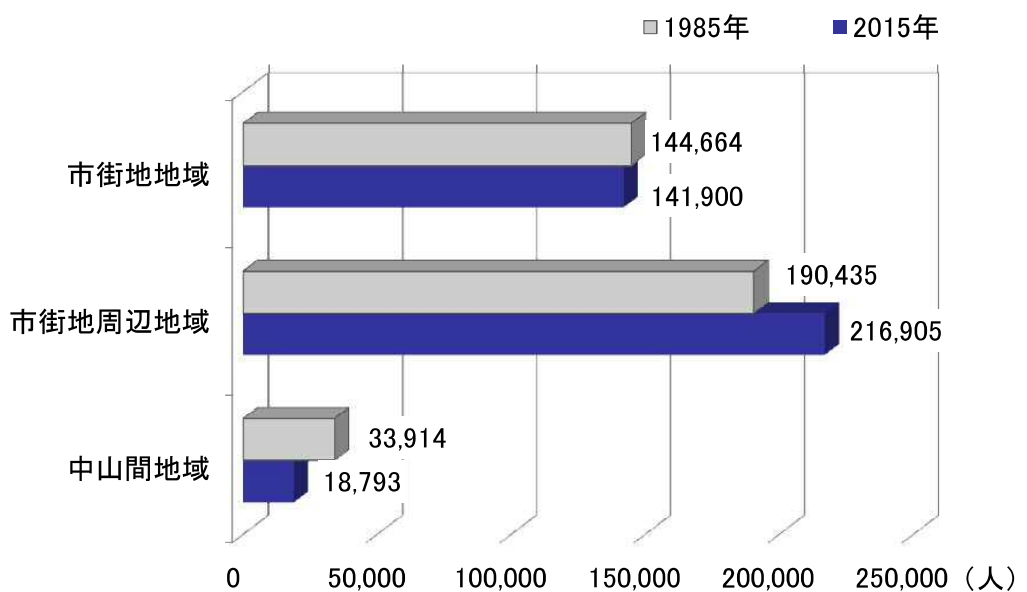
資料：昭和60（1985）年、平成27（2015）年「国勢調査」

地区別人口（32地区）③

地区名	人口	
	1985年10月1日	2015年10月1日
川中島	18,473	26,881
更北	23,609	33,486
七二会	3,053	1,622
信更	3,848	2,051
豊野	9,701	9,609
戸隠	5,866	3,499
鬼無里	2,864	1,393
大岡	2,103	960
信州新町	7,881	4,135
中条	3,635	1,917
地区不詳	10	0

資料：昭和60（1985）年、平成27（2015）年「国勢調査」

地域別人口 (グラフ)

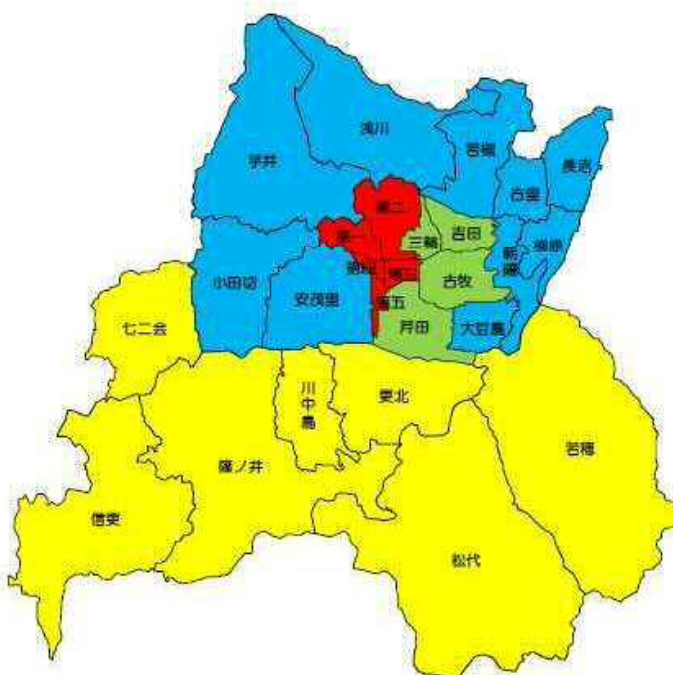


資料：昭和60（1985）年、平成27（2015）年「国勢調査」

長野市の面積

- 明治30年(1897年)
- 大正12年(1923年)
- 昭和29年(1954年)
- 昭和41年(1966年)

面積404.35 km²



長野市の面積

平成17年（2005年）合併

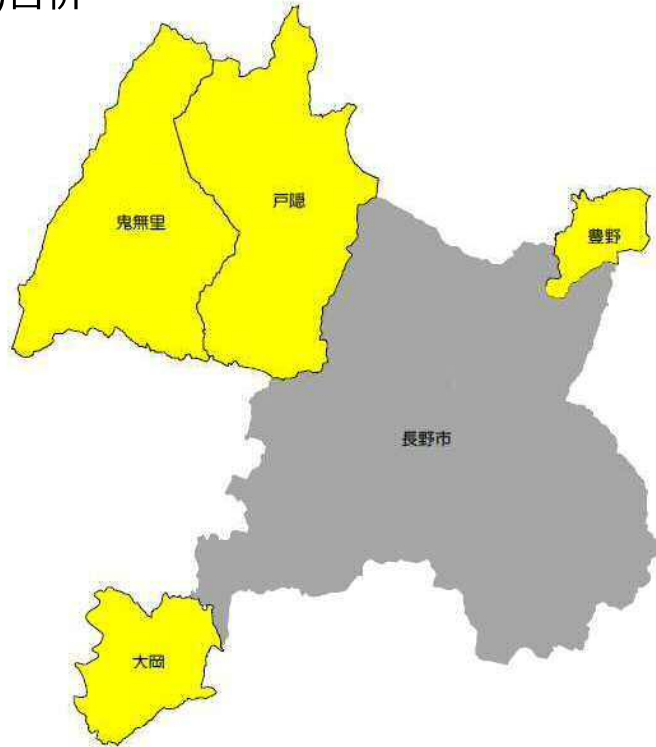
豊野町

戸隠村

鬼無里村

大岡村

面積738.51 km²



14

長野市の面積

平成22年（2010年）合併

信州新町

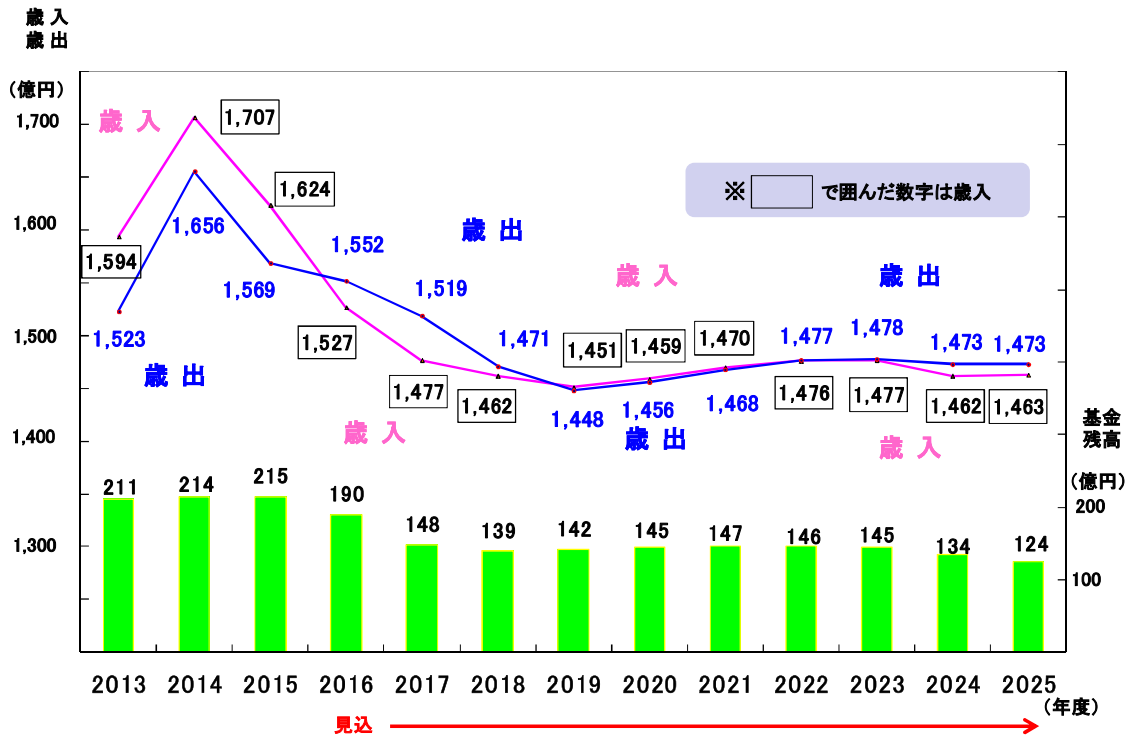
中条村

面積834.81 km²



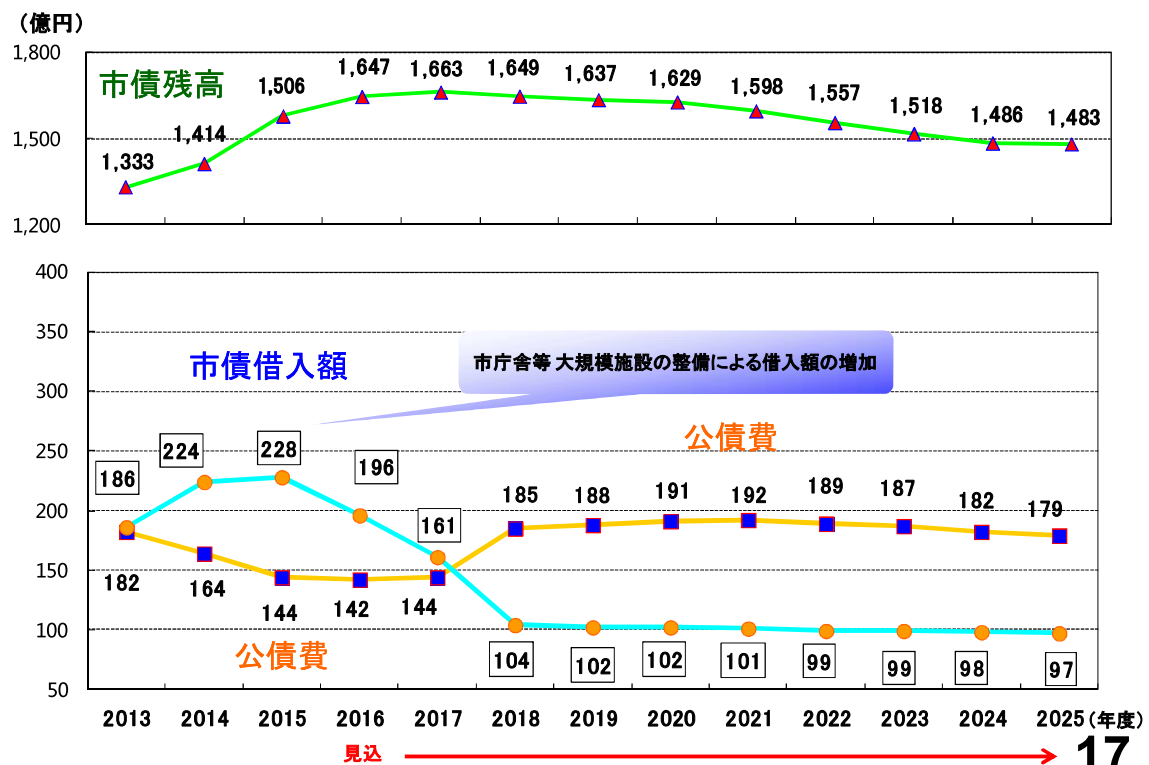
15

長野市の財政（推計）①



16

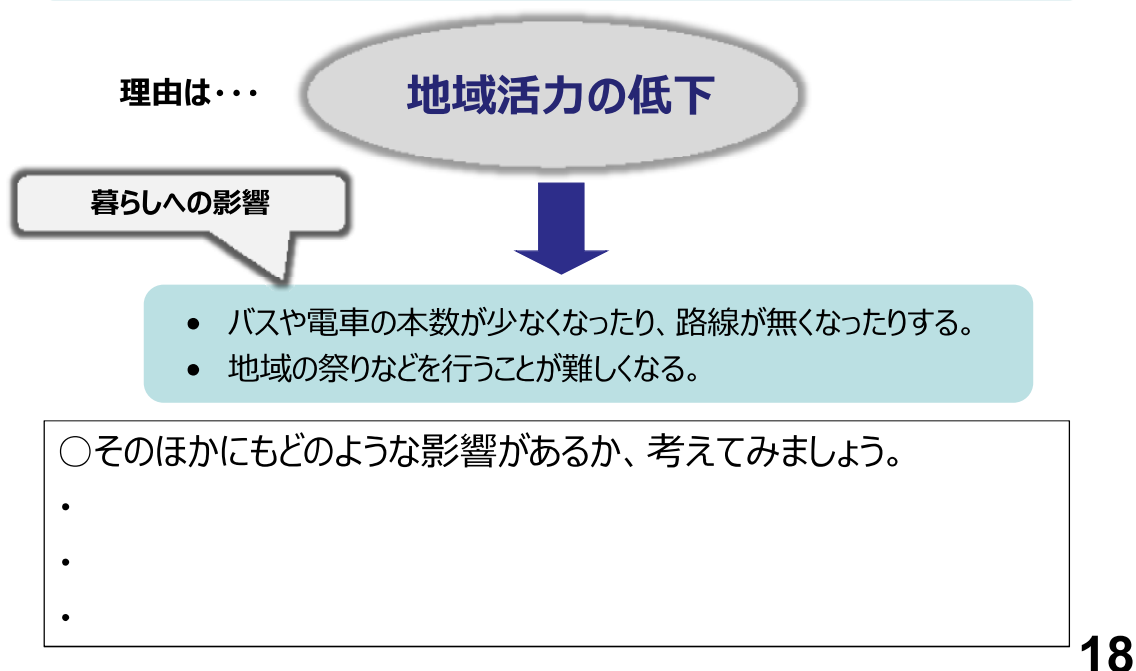
長野市の財政（推計）②



17

人口減少、少子・高齢化とまちの将来像

○人口減少や少子・高齢化が問題視されるのは、なぜ？



人口減少、少子・高齢化とまちの将来像

そこで…

地域の活力と今の暮らしをできるだけ維持していくためには、人口減少や少子・高齢化などの社会の現状を踏まえて、将来の見通しを立てることが必要

目指すべきまちの将来像を実現するために、市民、市議会、市役所が協働し、定めた指針が

「長野市総合計画」

第五次長野市総合計画について

まちの将来像



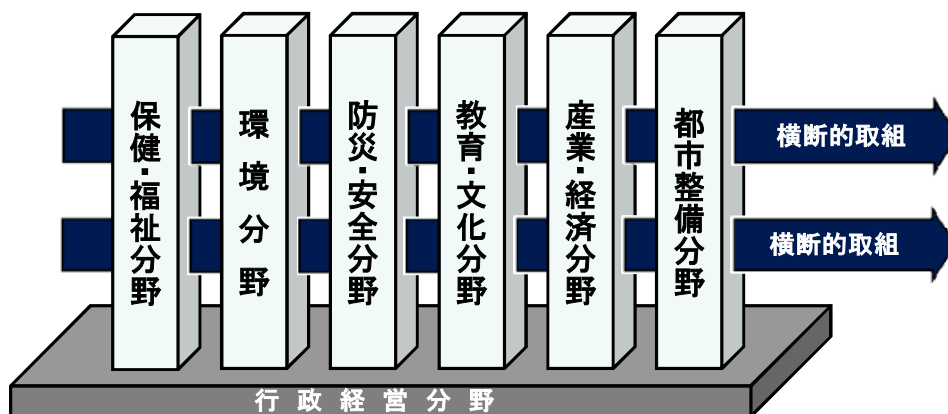
《計画の構成と期間》

	平成29 2017	平成30 2018	平成31 2019	平成32 2020	平成33 2021	平成34 2022	平成35 2023	平成36 2024	平成37 2025	平成38 2026
基本 構想	→									
基本 計画	→					→				
実施 計画	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→

20

○分野横断的取組を要する「計画推進重点テーマ」の必要性

現在、課題が重なり合い特定分野での対応が難しいため、複数の分野にわたって連携を図り推進している施策があり、今後は分野ごとの施策の推進に加え、これまで以上にさまざまな分野にわたる取組を要する施策の重要性が増しています。



計画を推進するため、特に力を入れて取り組むべきテーマを選ぶ視点は次の3つ

- ・ 視点1 重要度が高く、至急取り組む必要があること
- ・ 視点2 分野を特定できず、いくつもの分野にわたる取組が必要なこと
- ・ 視点3 複数分野での取組によって、相乗効果が期待できること

21

前期基本計画（平成29(2017)～33(2021)年度）

☆計画推進重点テーマ☆

“オールながの”で人口減少を抑制し、幸せを実感できるまちを目指す

テーマ1 「魅力ある地域づくり」～暮らし続けられる環境づくりに向けて～

テーマを実現する視点

『安心して暮らす』『ともに支える』『地域が輝く』

『生活機能を守る』『自然を保全・活用する』

テーマ2 「にぎわいあるまちづくり」～交流人口の増加に向けて～

テーマを実現する視点

『存在感を示す』『人が集う』『文化・スポーツを楽しむ』

『新しい人の流れをつくる』

テーマ3 「活力あるまちづくり」～定住人口の増加に向けて～

テーマを実現する視点

『子どもを産み育てる』『いつまでも健康に暮らす』『元気な体をつくる』

『仕事生まれる』『企業が育つ』

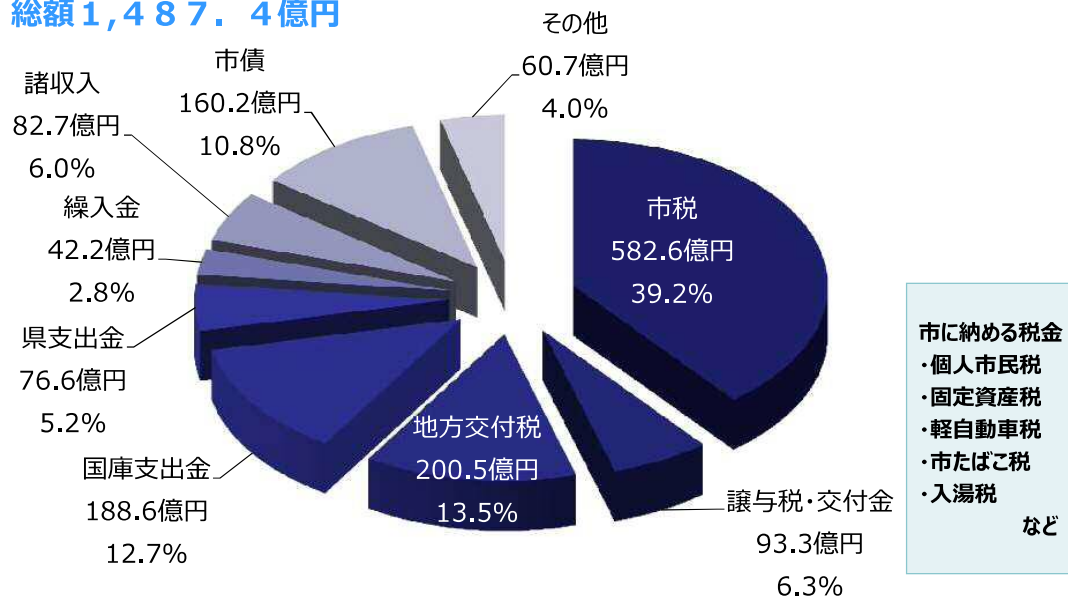
22

長野市の予算（歳入）

一般会計

平成29（2017）年度

総額 1,487.4億円



資料:財政課

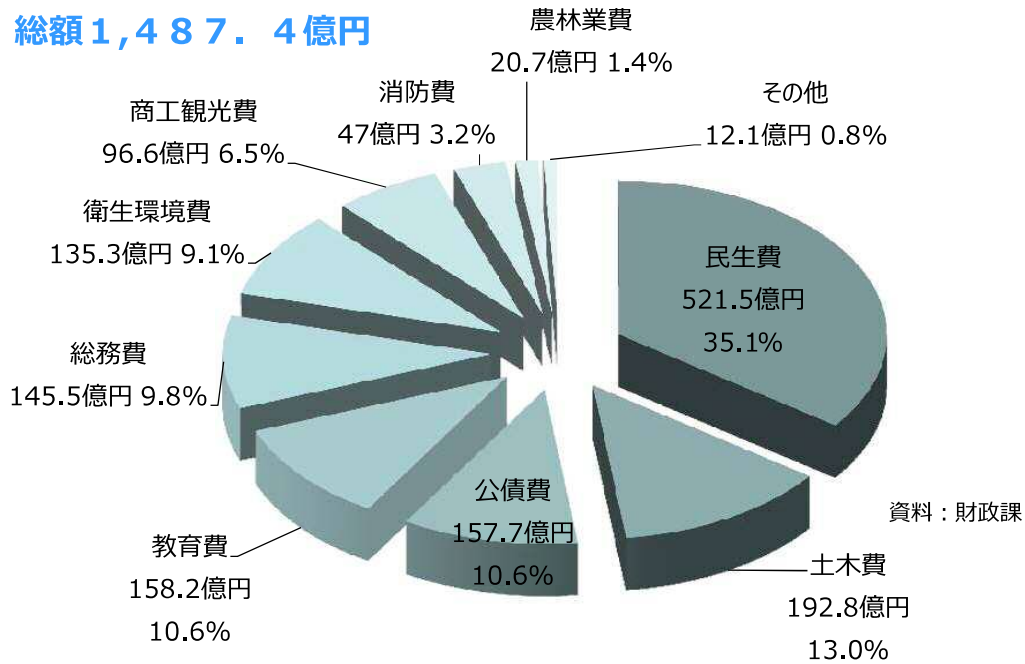
23

長野市の予算(歳出)

一般会計

平成29(2017)年度

総額 1,487.4億円



24

市民1人当たりの平成29(2017)年度当初予算額

市民1人当たりの歳出予算額 38万9千円

一般会計

※長野市の人口：381,957人(平成29(2017)年1月1日現在)

<p>民生費 子ども、高齢者、障害者の福祉 13万7千円</p>	<p>土木費 道路、河川などの建設・維持 5万1千円</p>	<p>教育費 学校、公民館、スポーツなど 4万1千円</p>	<p>公債費 借入金の返済 4万1千円</p>	<p>総務費 庁舎管理、公共交通など 3万8千円</p>
<p>衛生環境費 保健所、病院、清掃衛生など 3万5千円</p>	<p>商工観光費 産業振興、観光振興など 2万5千円</p>	<p>消防費 消防、救急 1万2千円</p>	<p>農林業費 農林業振興、有害鳥獣対策 6千円</p>	<p>その他 議会、労働、災害復旧など 3千円</p>

資料：財政課

25

平成29(2017)年度 長野市予算を家計に例えると

市の予算（1,487.4億円）を 年収500万円の家庭の家計簿に置き換えてみます。

収入 500万円

- 給与収入（市税） 196万円
- パート収入 48万円
(使用料・諸収入など)
- 実家（国）からの仕送り 162万円
- 親戚（県）からの援助 26万円
- 貯金の取り崩し 14万円
- 銀行からの借金 54万円

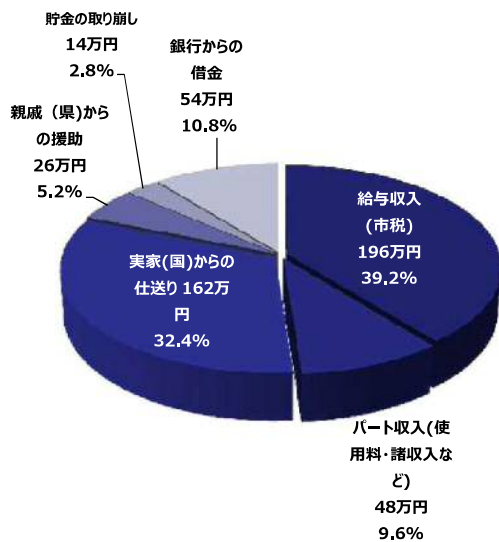


支出 500万円

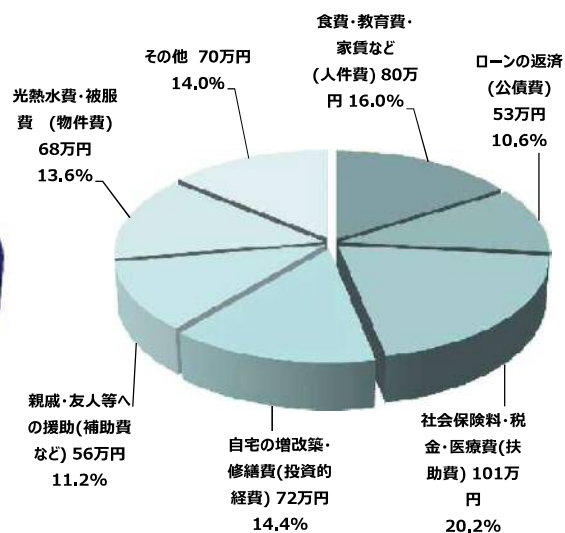
- 食費・教育費・家賃など（人件費） 80万円
- ローンの返済（公債費） 53万円
- 社会保険料・税金・医療費（扶助費） 101万円
- 自宅の増改築・修繕費（投資的経費） 72万円
- 親戚・友人等への援助金（補助費など） 56万円
- 光熱水費・被服費（物件費） 68万円
- その他 70万円

平成29(2017)年度 長野市予算を家計に例えると

収入



支出



総合計画分野別にみた平成29(2017)年度予算

※金額は、各項目において千円未満を切り上げ表示しているため、表示額の足し上げと合計額が一致しません。

行政経営の方針【行政経営分野】	448億6,342万円
人にやさしく人がいきいき暮らすまち「ながの」 【保健・福祉分野】	1,355億4,883万円
人と自然が共生するまち「ながの」 【環境分野】	64億5,538万円
安全で安心して暮らせるまち「ながの」 【防災・安全分野】	35億 477万円
豊かな心を育み人と文化が輝くまち「ながの」 【教育・文化分野】	139億1,874万円
産業の活力とにぎわいのあふれるまち「ながの」 【産業・経済分野】	129億1,876万円
快適に暮らし活動できるコンパクトなまち「ながの」 【都市整備分野】	527億6,955万円

「計」欄は、一般会計（1,487億4,000万円）に特別会計（保険料などの税金以外の収入が経費に充てられている会計）と企業会計（水道や観光施設など、地域住民の生活や地域の発展のために不可欠なサービスを提供する会計）を合わせた金額としています。

計 2,702億6,660万円

28



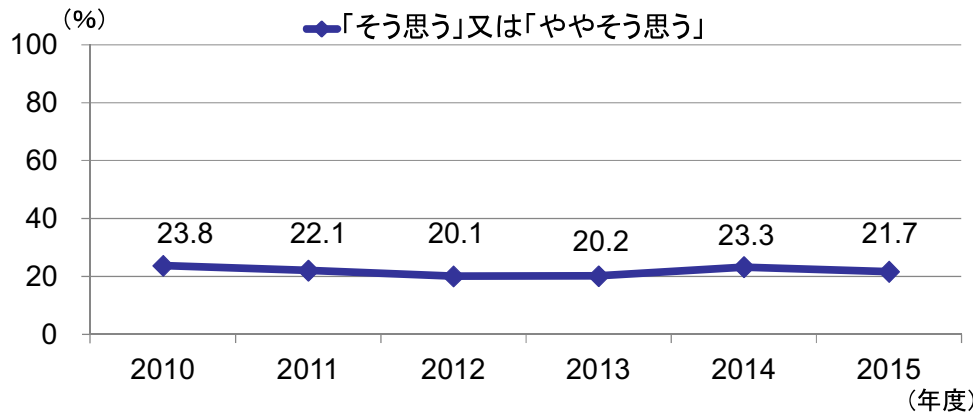
分野別資料

- 「市民が主役のまちづくり／
地方中核都市としての長野市の役割」
(行政経営分野)
- 「子育て支援／健康な身体づくり」(保健・福祉分野)
- 「ごみ減量」(環境分野)
- 「防災／交通安全」(防災・安全分野)
- 「教育／スポーツ」(教育・文化分野)
- 「観光」(産業・経済分野)
- 「公共交通」(都市整備分野)

29

《市民が主役のまちづくり》

「市民の意見を取り入れて、市民と行政が協力したまちづくりが行われている」と思う市民の割合



資料：企画課

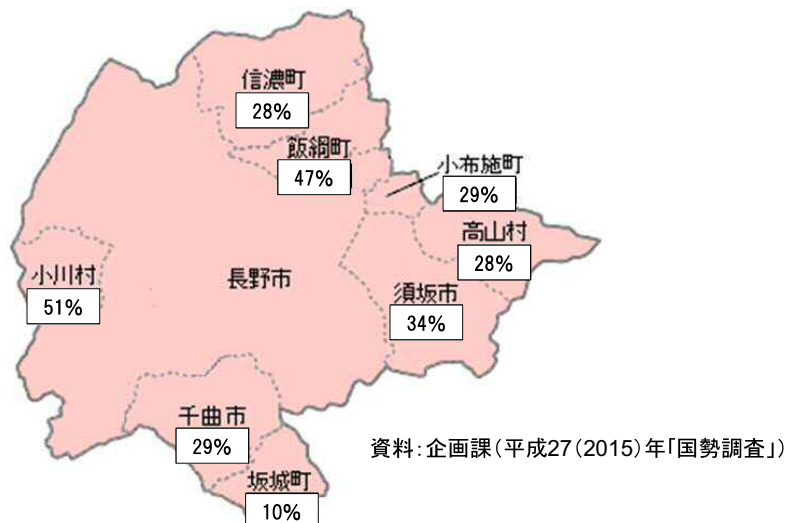
目指す状態 市政情報を迅速に分かりやすく提供するとともに、多くの市民意見を市政に活用している。

目標 〈 パブリックコメント※ 1件あたりに寄せられた意見数 (直近5年間の平均) 39.7件 → 50.0件 〉
※計画や条例などを定めようとする際に、広く市民から意見・提案を募る制度のこと

30

《地方中核都市としての長野市の役割》

近隣8市町村の長野市への通勤通学割合



資料：企画課（平成27（2015）年「国勢調査」）

目指す状態 地方公共団体間の連携を有効に活用し、連携する市町村全体が発展している。

目標 〈長野地域の定住人口※541,368人（2016年）→ 526,000人〉

※長野県毎月人口異動調査における、6月1日現在の長野市、須坂市、千曲市、坂城町、小布施町、高山村、信濃町、小川村、飯綱町の人口の合計

31

《市民が主役のまちづくり／
地方中核都市としての長野市の役割》

市役所の取組

- ・市民の声の市政への反映
(みどりのはがき、まちづくりアンケートなど)
- ・地域住民によるまちづくり活動に対する支援
(地域やる気支援補助金など)
- ・ふるさと納税の受け入れ
- ・近隣市町村との協働による特別養護老人ホームの
運営や広域ごみ処理（長野広域連合）

32

《市民が主役のまちづくり／
地方中核都市としての長野市の役割》

市役所の予算（平成29〈2017〉年度）

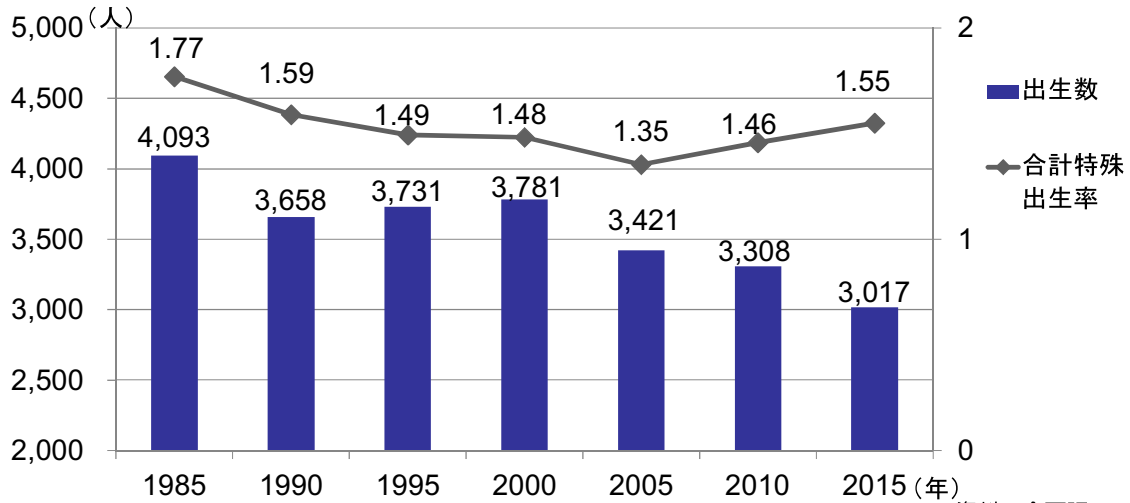
みどりのはがき・市民会議	224万円
まちづくりアンケート	209万円
地域やる気支援補助金	810万円
ふるさと応援寄付	4,967万円
長野広域連合※への負担金	7,716万円

※長野市、須坂市、千曲市、坂城町、小布施町、高山村、信濃町、小川村、飯綱町の9市町村の共同により、特別養護老人ホームの運営や広域のごみ処理対策等を行う特別地方公共団体

33

《子育て支援》

出生数と合計特殊出生率

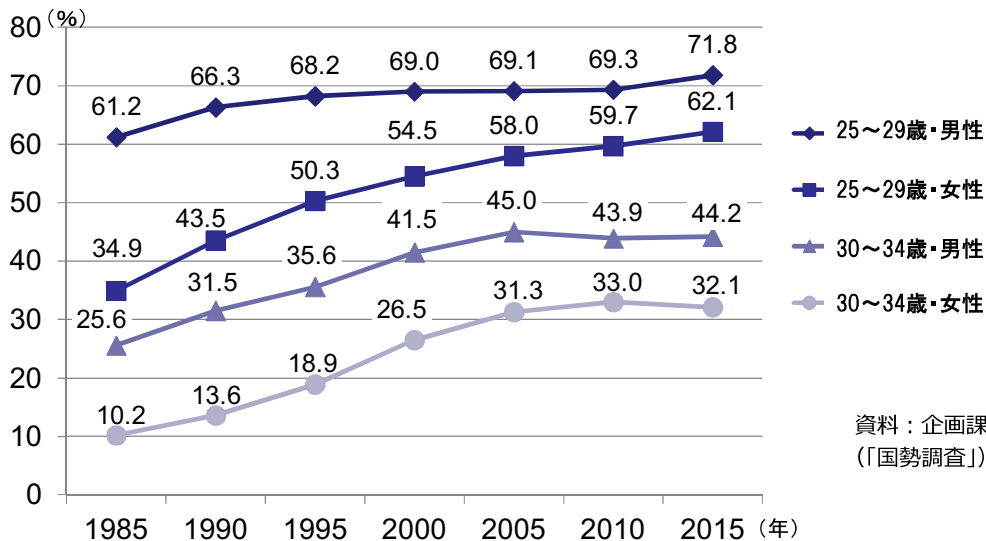


目指す状態 若い世代が結婚や妊娠・出産についての希望をかなえ、温かい社会の中で安心して子どもを育てている。

目標 〈合計特殊出生率 1.55 → 1.65〉

《子育て支援》

未婚率

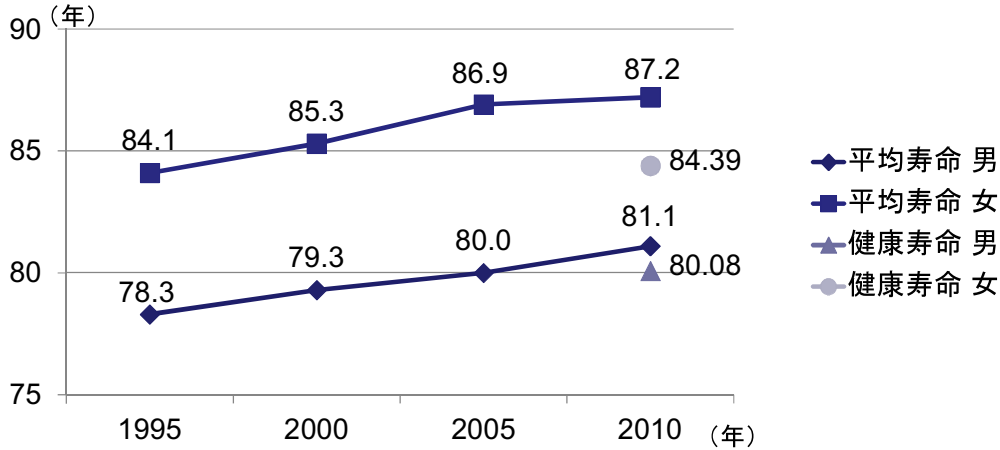


目指す状態 若い世代が結婚や妊娠・出産についての希望をかなえ、温かい社会の中で安心して子どもを育てている。

目標 〈合計特殊出生率 1.55 → 1.65〉

《健康な身体づくり》

平均寿命と健康寿命



注：2005年以前の健康寿命は算出していません。

資料：健康課

目指す状態 市民一人ひとりが健康の大切さを認識し、生涯を通じて主体的に健康づくりに取り組み、自分らしく生きがいを持って生活している。

目標 $\left\langle \begin{array}{l} \text{健康寿命 男 80.81年} \\ \text{女 84.97年} \end{array} \rightarrow \begin{array}{l} \text{平均寿命の増加分を上回る} \\ \text{健康寿命の増加} \end{array} \right\rangle$

《子育て支援／健康な身体づくり》

市役所の取組

- ・結婚を希望する市民の結婚活動の応援
(結婚支援専用Webサイトの構築、結婚セミナーの開催など)
- ・妊娠・出産・子育てへの支援
(妊婦健康診査、乳幼児健康診査など)
- ・がん検診や予防接種の実施
- ・診療所の運営
(信里、信更、戸隠、鬼無里、大岡、中条)
- ・後期高齢者※医療
※75歳以上の高齢者等のこと



「赤ちゃんのしおり」

《子育て支援／健康な身体づくり》

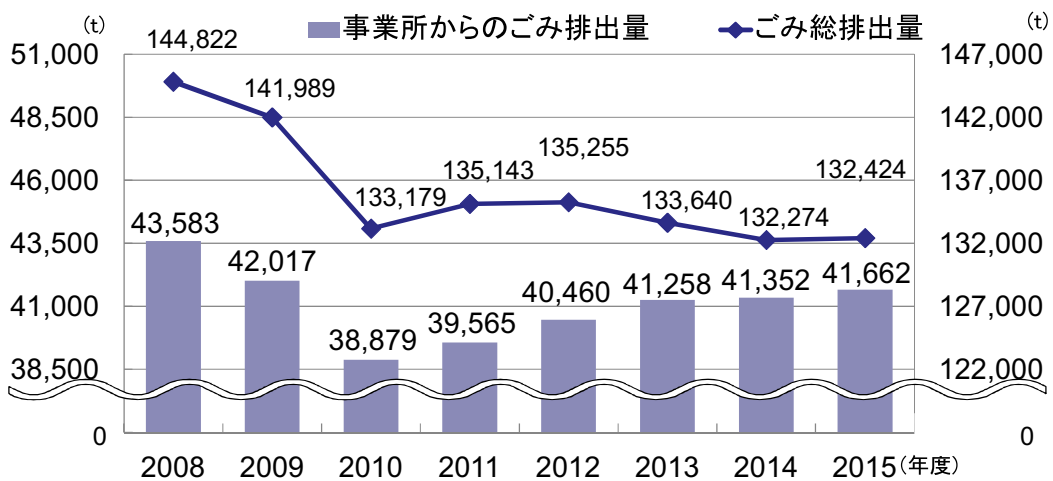
市役所の予算（平成29〈2017〉年度）

結婚支援	993万円
乳幼児健康診査	5,611万円
がん検診	2億2,178万円
予防接種	8億7,049万円
後期高齢者医療	47億4,280万円

38

《ごみ減量》

ごみ排出量



資料：生活環境課

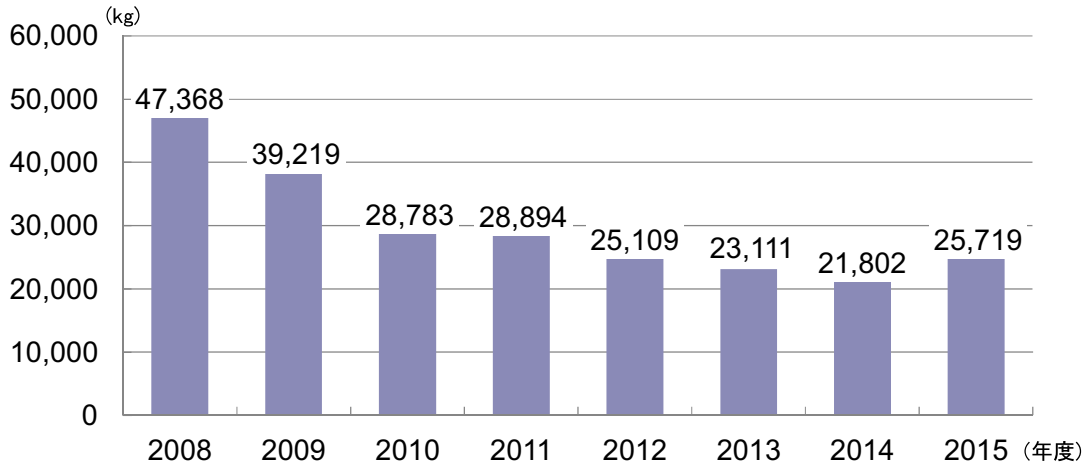
目指す状態 市民や事業者がごみの発生抑制に積極的に取り組み、排出量が年々減少している。

目標 《ごみ総排出量 市民一人一日当たりのごみ排出量 961g → 935g以下》

39

《ごみ減量》

ポイ捨て等ごみ回収量



資料：環境政策課

目指す状態 良好な生活環境が美しく保たれている。

目 標

ポイ捨て等ごみ回収量
地域の環境美化活動のごみ回収量 25,719kg → 21,500kg以下

40

《ごみ減量》

市役所の取組

- ・生ごみの減量や堆肥化の推進
(「生ごみ自家処理実践講座」の開催など)
- ・ごみ分別の指導啓発
(出前講座の開催、「ながのごみ通信」の発行など)
- ・ごみ、し尿の収集運搬
- ・環境教育
(環境学習会の開催、指導者養成など)
- ・不法投棄や環境汚染への対策



生ごみ自家処理実践講座

《ごみ減量》

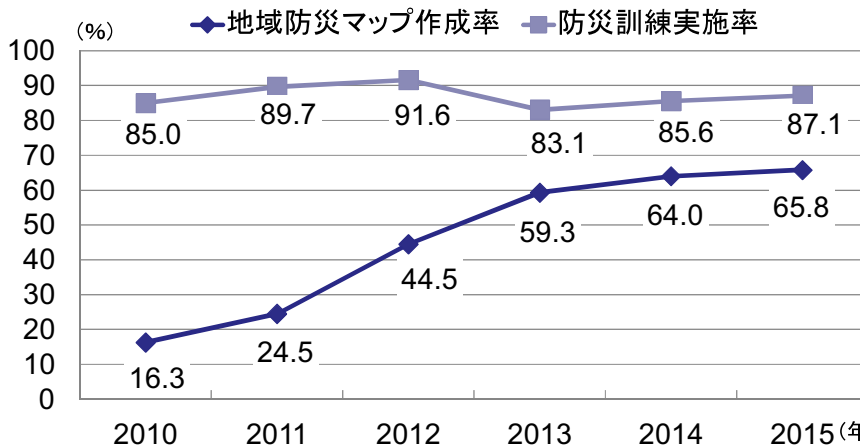
市役所の予算（平成29〈2017〉年度）

生ごみ減量啓発	170万円
資源回収報奨金	7,678万円
ごみ収集運搬	11億5,570万円
環境教育	298万円
不法投棄対策	548万円

42

《防災》

地域防災マップ作成率と防災訓練実施率



資料：危機管理防災課、警防課

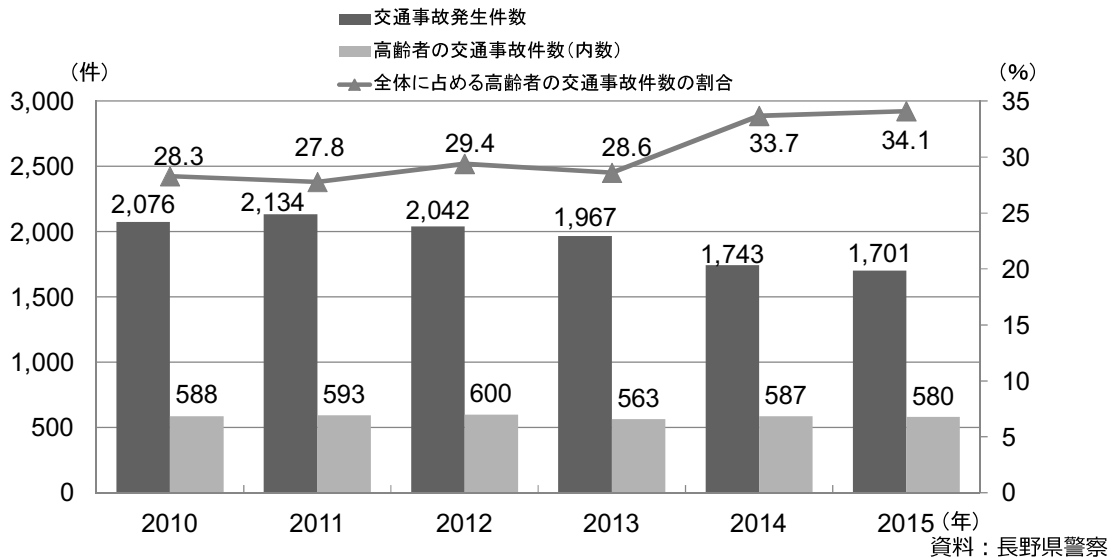
目指す状態 災害発生に備え、被害を最小限に抑制できる体制や準備が整っている。

目 標 < 地域防災マップ作成率 65.8% → 85.1% >
< 防災訓練実施率 87.1% → 100% >

43

《交通安全》

交通事故発生件数と高齢者の交通事故件数



目指す状態 市民が交通事故の被害者・加害者になることなく、安全に安心して生活している。

目標 < 交通事故件数 1,701件 → 1,250件以下 >
< 高齢者の交通事故件数 580件 → 375件以下 >

44

《防災／交通安全》

市役所の取組

・自主防災の組織強化

(消火器購入の補助、防火防災訓練の補助など)

・災害応急対策

(避難所の運営に必要な簡易トイレ、毛布、食料品などの備蓄)

通学路の整備 (市道朝陽381号線)

・交通安全教育の実施

・交通安全施設の整備

(標識、反射鏡、防護柵など)

・通学路の整備



(整備前)



(整備後)

45

《防災／交通安全》

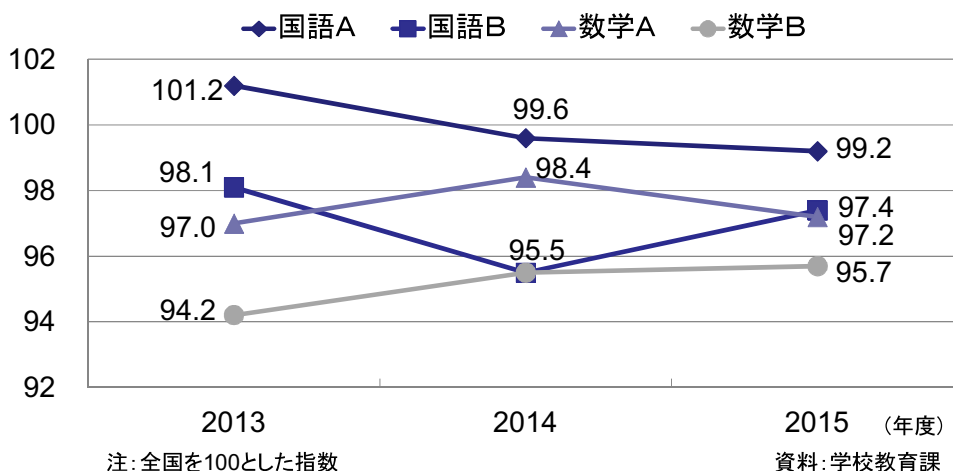
市役所の予算（平成29〈2017〉年度）

自主防災組織強化	992万円
災害応急対策	6,882万円
交通安全教育	694万円
交通安全施設等整備	5,250万円
通学路整備	4,500万円

46

《教育》

全国学力・学習状況調査の平均正答率（中学生）



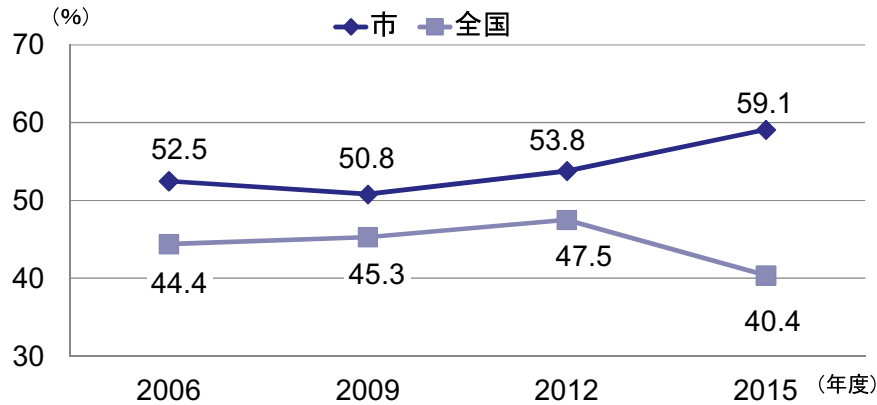
目指す状態 子どもが社会でたくましく生きていくために必要な学力・体力を身に付け、人間性豊かに成長している。

目標 〈中学生数学A 97.2 ➡ 100 など〉

47

《スポーツ》

成人が週1回以上スポーツや運動を実施した割合



資料：スポーツ課（「まちづくりアンケート」）、
内閣府、文部科学省（「体力・スポーツに関する世論調査（平成24（2012）年度まで）」）、
内閣府（「東京オリンピック・パラリンピックに関する世論調査（平成27（2015）年度）」に基づく文部科学省推計）

目指す状態 気軽にスポーツや運動に親しめる環境が整い、市民が自分に合ったスポーツや運動を楽しんでいる。

目標 〈スポーツ実施率 59.1% ➡ 65.0% など〉

48

《教育／スポーツ》

市役所の取組

- ・**中学校の施設整備**
（校舎、屋内運動場、グラウンドの改修など）
- ・**給食センターの改修**
- ・**スポーツ教室の開催**
（若返り体操教室、親子ふれあい体操教室など）
- ・**南長野運動公園総合運動場**
（長野Uスタジアムなど）の管理運営



長野Uスタジアム

49

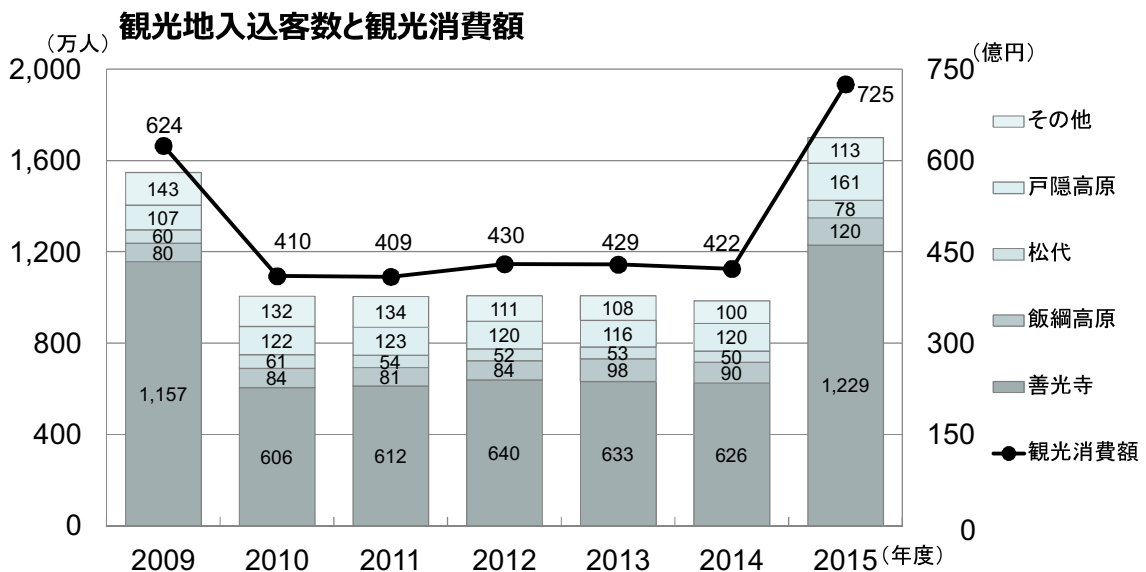
《教育／スポーツ》

市役所の予算（平成29〈2017〉年度）

中学校施設整備	1億763万円
第一、第二給食センター改修	1億8,388万円
スポーツ教室	418万円
南長野運動公園総合運動場 管理運営	2億3,050万円

50

《観光》



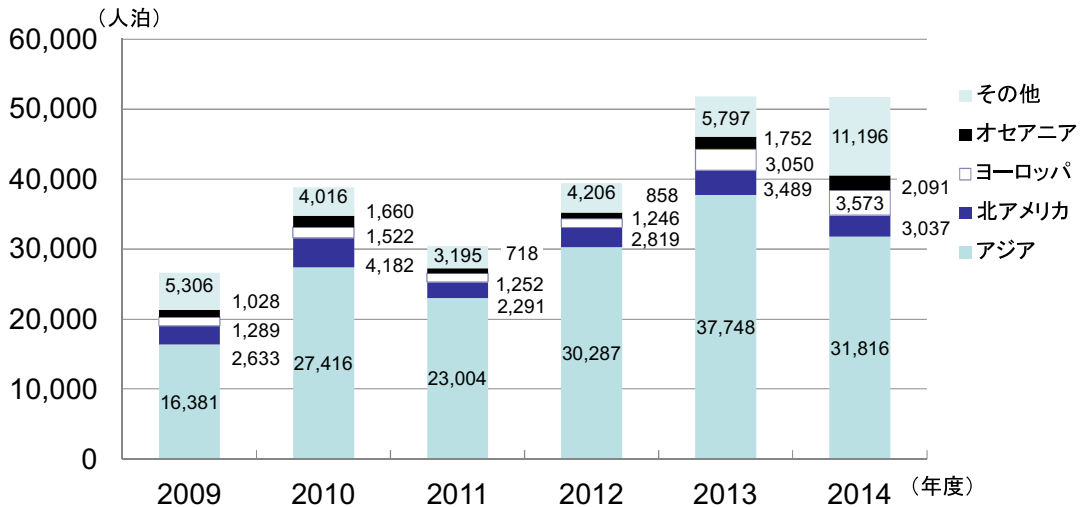
目指す状態 豊富な観光資源を活かし、観光客でにぎわい観光消費額が増加している。

目 標 <一人当たり観光消費額の推計 13,017円 ➡ 14,300円>

51

「観光」

外国人宿泊者数



目指す状態 外国人観光客誘致に向けた効果的な情報を発信し、
充実した受入環境の下で外国人観光客が快適に滞在している。 資料：観光振興課

目標 〈市内外国人宿泊者数（年）59,206人泊 ➡ 71,000人泊〉 **52**

「観光」

市役所の取組

・「信州デスティネーションキャンペーン※」の実施

※長野県、市町村、民間団体、JRグループなどとの連携による大規模な観光キャンペーン

・観光まつりへの補助

(長野灯明まつり、長野びんずるなど)

・飯綱高原スキー場の運営

・戸隠観光施設の運営

(戸隠スキー場、キャンプ場)

・インバウンド※の推進

※訪日外国人旅行のこと



長野びんずる

《観光》

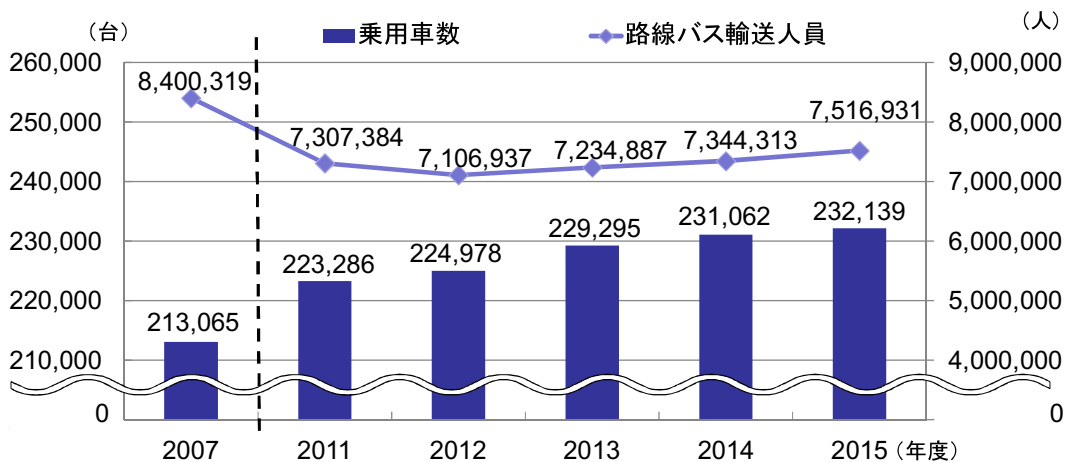
市役所の予算（平成29〈2017〉年度）

信州デスティネーション キャンペーン関連	4,433万円
観光まつり補助金	4,752万円
飯綱高原スキー場運営	9,250万円
戸隠観光施設運営	2億6,900万円
インバウンド推進	784万円

54

《公共交通》

自家用乗用車数と路線バス輸送人員



資料：国土交通省（「長野県内の市町村別自動車保有車両数」）、企画課

目指す状態 だれもが利用しやすい公共交通が構築され、多くの人々が利用している。

目標 <市民一人当たりの公共交通利用回数 128.5回 → 132.1回>

55

《公共交通》

市役所の取組

- ・路線バスの維持・活性化の支援
(廃止路線の代替バス等の運行)
- ・コミュニティバス※の運行の支援
※ぐるりん号、乗合タクシーのこと
- ・市バス等の運行 (戸隠、鬼無里、大岡、信州新町、中条の5地区)
- ・中山間地域輸送システム※運行に対する支援
※中山間地域において各住民組織が運行する乗合タクシーのこと
- ・鉄道施設バリアフリー化の支援
(駅のエレベーターや多目的トイレの整備)
- ・自転車利用の促進
(駐輪場への防犯カメラ設置、駐輪ラックの改修など)



ぐるりん号

《公共交通》

市役所の予算 (平成29<2017>年度)

路線バス維持活性化 (補助金)	5,900万円
コミュニティバス運行 (補助金)	6,550万円
市バス等運行	1億2,634万円
中山間地域輸送システム運行 (補助金)	1,600万円
鉄道施設バリアフリー化 (補助金)	7,034万円
自転車利用促進	475万円

生徒版についてのお問い合わせ先

長野市役所企画政策部企画課 企画調査担当

長野市大字鶴賀緑町1613番地

直通TEL 026-224-5010

FAX 026-224-5103

E-mail : kikaku@city.nagano.lg.jp

「第五次長野市総合計画」本編は、長野市ホームページへ掲載しています。

URL : <http://www.city.nagano.nagano.jp/soshiki/kikaku/118833.html>

ながのご縁を  信都・長野市